

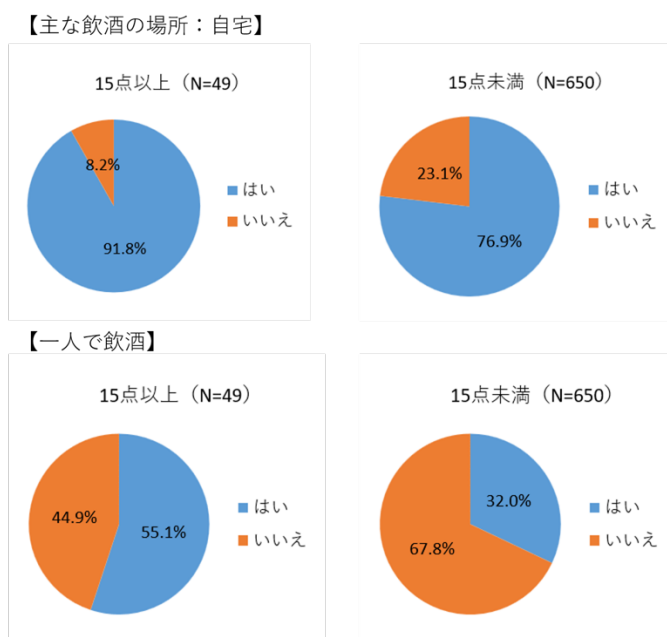
（参考）都におけるアルコール問題の現状

AUDIT（飲酒問題のスクリーニングテスト）の状況

「令和 7 年度東京都における飲酒問題調査研究」では、AUDIT15 点以上を「アルコール依存症が疑われる水準」として、飲酒の状況を調査しました。

AUDIT15 点以上の人では、「自宅で飲酒する」と回答した割合が 91.8%、「一人で飲酒する」と回答した割合が 55.1%となっています。一方、15 点未満の人では、それぞれ 76.9%、32.0%となっています。

この結果から、AUDIT15 点以上の人では、15 点未満の人と比べて、自宅で飲酒する人や一人で飲酒する人の割合が高いことが分かります。



注：令和 7 年度「東京都における飲酒問題調査研究」より作成



注：AUDIT は WHO が開発した飲酒問題のスクリーニングテストで、世界中や日本の医療・保健指導の現場で広く使われています。設問は 10 項目あり、各項目の合計点（最大 40 点）で飲酒問題の程度を評価します。飲酒量の評価には「ドリンク（純アルコール 10g）」という単位が用いられます。